

第12回 学校開校準備委員会のご報告

令和3年12月22日（水）第12回学校開校準備委員会を開催しました。

今回は、①今後の設計・工事について、②校章、制服の決定方法について、③通学関係について、の内容で特に②を中心に意見交換を行いました。

【主な説明内容】

1. 今後の設計・工事について

■ 工事事業者について

→ 新校の実施設計業務、工事を行う事業者が「松井建設・深阪工務店・山田総合設計特定建設工事共同企業体」に決まりました。

■ 今後のスケジュールについて（予定）

R4.1～ 実施設計

R4.9～ 新体育館建設（完成後、榎尾中在校生利用）

R5.7～ 新校舎建設（完成後、榎尾中在校生利用）

R7.4 開校



2. 校章、制服の決定方法について

【校章について】

・校章は学校のシンボル

→ 市、地域（郷土）とのむすびつきや歴史、文化、伝統、願いなどがこめられています。

→ 校旗、制服、校門の門柱、緞帳、卒業証書、通学帽や体操服などの学用品などに使用されています。



■ 決定までのながれについて

① 校章案を児童生徒・地域、ゆかりのある方から募集

② 第一次審査（募集要件等の適合審査）

③ 第二次審査（10点程度に選別）

④ 最終審査にて校章案を選定 ← 学校開校準備委員会にて協議・選定

⑤ 校章案をデザイン会社に仕上げ依頼

「③第二次審査」についても、学校開校準備委員会で協議・選定するのがよいのではないかというご意見もいただきました

（裏面へ）

【制服について】

■ 決定までのながれについて

①制服導入、使用する学年、要望内容の整理 → アンケート実施

②メーカーの募集

③メーカーの選定（プレゼン）

④デザインの提案（複数） → 展示会・アンケート

⑤最終審査にて決定 ← 学校開校準備委員会にて協議・選定

導入の場合

↓
制服を導入するかどうか、
導入するなら何年生からか、
素材、価格などの意見、要望を
確認・集約

■ 導入事例

- ・ 1～9年生で制服 ・ 1～4年生は私服、5・6年生は標準服、7～9年生は制服
- ・ 1～4年生は私服、5～9年生は標準服 ・ 1～4年生は私服、5～9年生は制服 など

このほか、一般的にいわれるメリット・デメリットや最近の動向などについて紹介しました。

3. 通学関係について

通学関係については、現在、南部地域の公共交通のあり方とともに民間のコンサルタントとともに検討を進めており、詳しくは2月頃に予定している次回学校開校準備委員会にて意見交換を行う予定です。

■ 意見

- ・ 1年生から制服が良い。子どもが制服きてうれしそうに写真をとっている姿をみると、制服の良さを感じる
- ・ 毎日同じ制服を着る不衛生感は特に感じない。もらいものなどを合わせると4着くらいもっている。
- ・ 高校になったらみんな制服になると思う。暑さなどの調整がしにくいとか、低学年では汚してしまいやすいなどの懸念もあるが、小中で制服に慣れておくことも大切だと思う。
- ・ メリットに「服装の乱れが生じにくい」という意見があるが、乱れる子は乱れると思うので配慮が必要。
- ・ LGBTへの対応について、女性のスラックスはわかるが、男性への配慮も考えてほしい。
- ・ 先に新しい学校の制服を買っておける期間があるのか。
- ・ 令和5年度から着用できるようなスケジュールになっているのか。
→ そういったお声もいただいてきており、令和5年度から購入可能となるよう進めています。
- ・ メーカーによって値段が変わってきたりするものなのか。
→ メーカーからは、要望を受けて素材などで価格を調整をすることが可能であると聞いています。
- ・ 通学カバンはどのようになっているのか。指定のものが必要であれば、制服などと同じようにメーカーにお願いしないといけないのでは。
- ・ 体操服も同じような考えかたで良いのか。
→ 学校とPTAで検討する形が考えられますが、学校開校準備委員会を活かし制服と同じように検討していく形が考えられます。

※ 次回は2月頃の開催予定で、主に通学関係について説明・意見交換を行います。

ニュースレターをメール配信中！

このニュースレターの受取りを希望される方は、右記QRコードを読み取っていただき、氏名、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。



【お問合せ】

教育・子ども部 教育総務課 〒594-8501 和泉市府中町 2-7-5 (TEL)0725-99-8196 (E-mail) m-junbi-iinkai@city.osaka-izumi.lg.jp